



1985~1988
前橋市教育委員会

やなぎ く ほ い せき ぐん ほくつちよう さ

柳久保遺跡群の発掘調査Ⅲ

柳久保遺跡群の調査

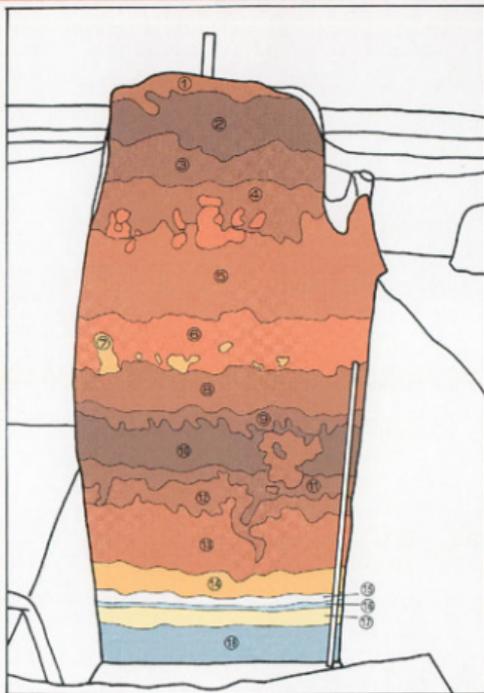


柳久保遺跡群の発掘調査は1985～1988年の4年間という長い間おこなわれました。調査を終了するにあたり、その成果をまとめました。表紙の写真は1988年に柳久保遺跡群・頭無遺跡から出土した縄石為文化の石器群で、約1.3万年前のものです。また、上の写真は発掘調査中の柳久保遺跡群です。遺跡群とは数個の遺跡が集まったものの呼びかたです。

旧石器時代の調査



▲地層断面



▲地層断面の説明

新石器時代	土の層群	年代	文化	火山灰の産地
新石器時代	① 赤土の沖積土	現在～約2,000年前	縄文時代前期	浅間山 (1185・1783年)
	②	約2,000年前	縄文時代前期	浅間山 (4世紀後半)
	③ かわらぬ・ローム土	約1,200年前～約1,200年前	縄文時代後期	浅間山
旧石器時代	④ カラスノコン土	約1.2～1.3万年前	縄石刃	浅間山
	⑤	約1.3～2.0万年前	ナイフ	浅間山
	⑥ 川巻色の粘土	約2.0万年前	ナイフ	舟石巻
	⑦ カたい・ローム土	約2.0万年前～約2.0万年前	ナイフ	浅間山
	⑧	約1.5～2.0万年前	ナイフ	舟石巻
旧石器時代	⑨	約1.5～2.0万年前	ナイフ	火山の活動があまり盛んではなかった。
	⑩	約2.0～2.5万年前	ナイフ	火山の活動があまり盛んではなかった。
	⑪	約2.5～4.0万年前	ナイフ	舟石巻
旧石器時代	⑫	約4.0～4.5万年前	ナイフ	舟石巻
	⑬	約4.5～5.0万年前	ナイフ	舟石巻
	⑭	約5.0～5.5万年前	ナイフ	舟石巻
	⑮	約5.5～6.0万年前	ナイフ	舟石巻
⑯ 粘土層の下の土は、ずっと黒く腐ったものです。				

⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

1988年に調査した柳久保遺跡群の南東部に位置する^{大久保}無遺跡の赤土の中から多くの旧石器時代の石器が出ました。約2.3万年前と約1.8万年前のナイフのような形をした石器、約1.3万年前の北海道や東北地方に多く見られる石器です。特に、約1.3万年前のものは細石刃文化と呼ばれるもので、前橋市はもとより、群馬県内においても初めてみつかったものです。石器に使われた石も群馬県内では見られないもので、東北地方から運ばれてきたものです。

旧石器時代の調査

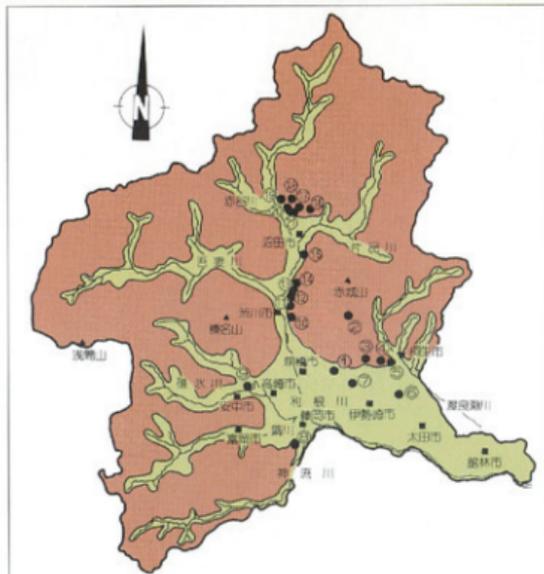


▲ナイフ形石器（左2点が約1.8万年前、右2点が約2.3万年前の石器です）



▲旧石器時代調査区全景（頭無遺跡）

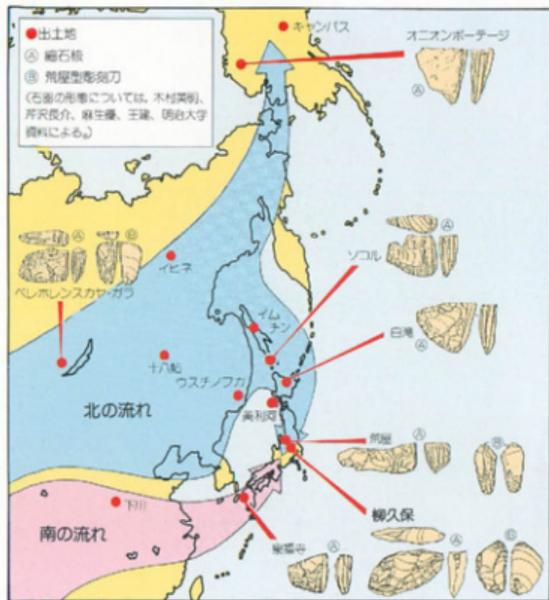
2m近い深さの“赤土”（関東ローム層）の中から約2.3万年前のものと約1.8万年前の石器がみつかりました。この石器は現在のナイフの形に似ていることから“ナイフ形石器”と呼ばれています。試し掘りをして石器の出た所を中心に、さらに広げて調査します。柳久保遺跡群で暮らした人々が使った最も古い石の道具です。



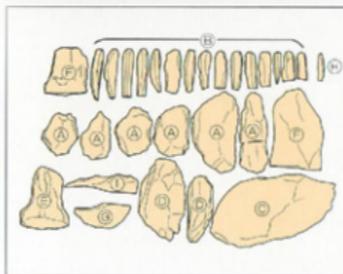
- | | | |
|---------------|----------------|------------------|
| 1柳久保（前橋市） | 8北山（藤岡市） | 15辰井岩崎跡（利根郡栗原村） |
| 2桐形（騎野郡宮城村） | 9古碓（安中市） | 16三津神社裏（利根郡月夜野町） |
| 3武井（騎野郡新里村） | 10分堀八路（騎野郡北橋村） | 17善上（ // ） |
| 4和田（前田郡吉原村） | 11明谷戸（ // ） | 18大竹（ // ） |
| 5岩塚（ // ） | 12藤助西（騎野郡志保村） | 19小竹A（ // ） |
| 6新塚（前田郡新塚本町） | 13栗立碓井（ // ） | 20久友館址（ // ） |
| 7下敷牛伏（佐波郡赤堀町） | 14藤沢R/山（ // ） | 21後田（ // ） |

▲群馬県の旧石器時代主要遺跡図

旧石器時代の調査

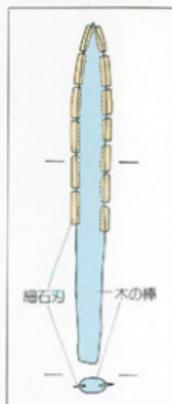


▲細石刃文化2つの流れ (週刊朝日百科「日本の歴史」35号を一部改変)



▲細石刃文化の石器名標図

▼細石刃の着装例



- ④ 汎用型彫刻刀…細石刃を軸に握り込むための溝を掘る道具。
- ⑤ 細石刃…細石核から薄く細長くはがしたものを、木などにはめ込んで槍や小刀として使用。
- ⑥ 細石核…細石刃を作るために木の葉のように加工されたもの。
- ⑦ 細石核剥ぎ削片…細石核の形を整えた際に生じたがけら。
- ⑧ 槍…動物の皮を剥ぎとる。
- ⑨ 箭…動物の肉を切ったり、木を切る。
- ⑩ 石核剥ぎ削片…石核の形を整えた際に生じたがけら。
- ⑪ 彫刻刀削片…彫刻刀の刃をつける際に生じたがけら。
- ⑫ 細石核削片…細石核をつくる時、最初に出たがけら。

細石刃文化には2つの流れがあります。シベリア地方から北海道を経て東日本へ伝わるものと中国南部から九州を経て西日本に伝わるものです。柳久保遺跡群でみつかった細石刃文化は北からの流れに入るものです。細石核と言われる石器から細石刃と呼ばれる石器をはがし、それを木や角にはめ込んで槍の先や小刀のように使いました。

縄文時代の調査

▼狩りに使ったおとし穴



▲縄文時代のおとし穴全景（頭無遺跡）

◀おとし穴の顔直風景（おとし穴の大きさがわかります）

縄文時代は、約1万2千年前～2千年前の時代です。この時代になると人は粘土を焼いて器を造ることを知ります。これが“縄文式土器”と呼ばれるものです。自然のものを取って食糧としていましたが、土器を使い物を煮て食べるという術や弓矢を使うことを身につけたのです。これが、土器を知らなかった時代との大きな違いです。また、土器の他に、石器や家の跡や動物を捕るために使ったおとし穴もたくさんみつかりました。

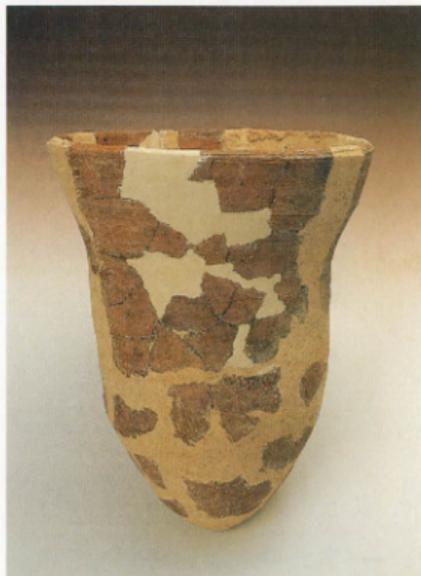
縄文時代の調査



▲約8千5百年前の土器（早期・押型文土器）



▲約8千5百年前の土器（早期・押型文土器）



▲約8千年前の土器（早期・沈線文系土器）

今までの時代と違い縄文時代になると土器と弓矢が発明されます。約1万2千年前のことです。土器が発明されたことにより人々の暮らしがたいそう変わりました。土器によって、歯の^{しん}摩擦を防ぎ、胃や腸などの消化を助けたり、食べ物を殺菌できるなどにより人々の^{じゅん}寿命がのびました。お年寄りの長寿により文化が保存され発達しました。



▲約8千年前の土器（早期・沈線文系土器）



▲約8千年前の土器（早期・沈線文系土器）



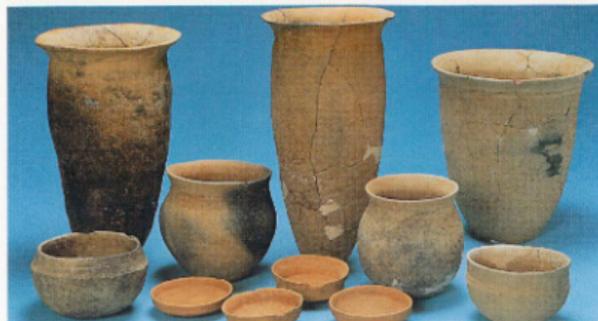
▲約7千年前の土器（早期・条長文系土器）

約1万年間続いた縄文時代に使われた縄文式土器も時代によって様々な形に変わっていきました。最初に作られた土器の底は平らなものです。次の時期には底の尖った土器がつくられる様になります。底の尖った土器はわずかな期間しか使われませんでした。その後はずっと底が平らな土器が使われます。柳久保遺跡群でみつかった土器はこのわずかな間に使われた底の尖った土器です。

古墳時代～平安時代の調査



▲約1,600年前の土器（古墳時代前期・石田川式土器）



▲約1,300年前の土器（古墳時代後期・鬼高式土器）



▲約1,500年前の土器（古墳時代中期・和泉式土器）



▲約1,200年前の土器（奈良時代・真筒式土器）

柳久保遺跡群では150軒をこえる家の跡がみつかりました。台地の南に向かってゆるやかに傾斜する日当たりの良い斜面に多くみつかりました。これは、日当たりが良く、自然の災害を受けにくい場所だからです。古墳時代も終わり頃（鬼高期）になるとカマドが使われるようになり、大甕の弾のような形の土器があらわれます。また、須恵器という土師器よりかたい灰色の土器が人々の間で使われるようになります。

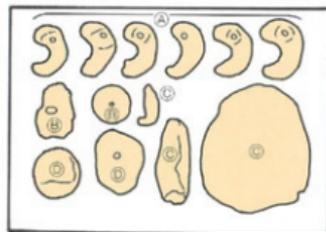
古墳時代～平安時代の調査



▲約1,300年前の古墳から出た土器（古墳時代後期）



▲約1,200年前の文字がガカれた土器



- ①……石 玉類
- ②……石 玉類
- ③……土 器
- ④……土 器

▲住居跡から出た玉類の名称

昔の人がお祭りに使った石で作られた勾玉類がみつかりました。また、家の跡や井戸などから墨書土器（墨で土器に文字が書かれているもの）が56点出ました。種類は土師器の杯、須志器の杯、椀です。墨書土器出土の家の跡は今から1,200年くらい前のものです。書かれている文字は「田」、「田部」と田に関連するものが多く、前橋市の歴史を考える上で大変貴重な資料です。

古墳と住居跡の調査



▲住居跡から出たたくさんの土器



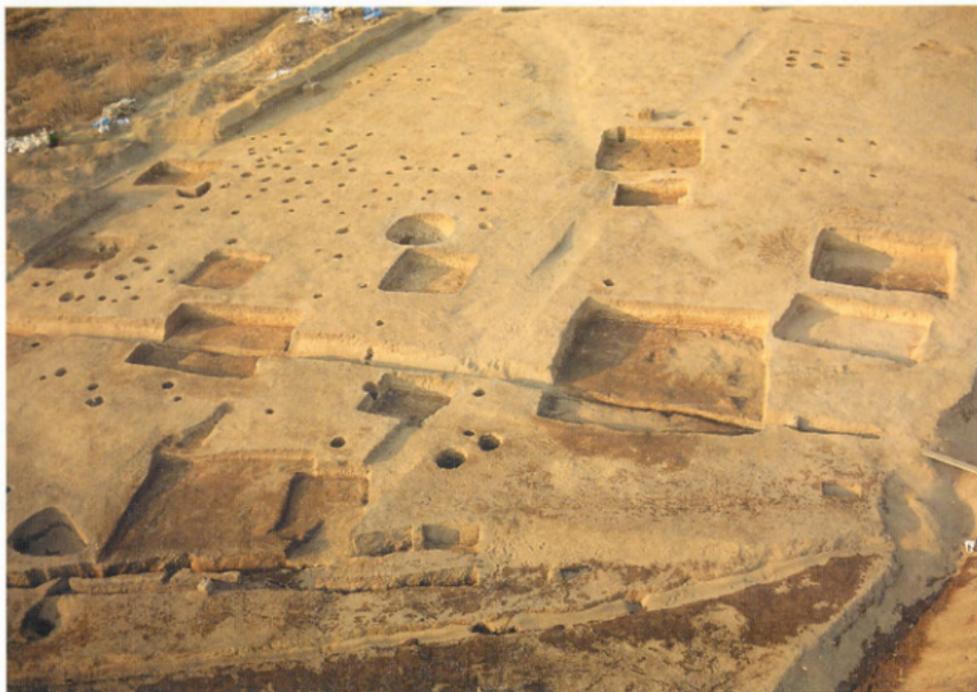
▲土器を使って作られたカマド



▲古墳の石室

柳久保遺跡群・中鶴谷遺跡でみつかった古墳は、直径21~22mの円墳です。横穴式石室で、赤城の自然石を少し加工して横んであります。全長5m25cmで、玄室（死者を葬った所）は2m55cm、玄室へ通じる部分（入り口）は2m70cmです。この古墳は石室の平面形が鴛を描くことと、前庭（葬式をとりおこなった所）があること、出土した土器などから古墳時代の終わりのころ（今から1,300年前）に造られたものです。

掘立柱建物跡の調査



▲柳久保遺跡の住居と建物群

柳久保遺跡群・柳久保遺跡の台地からは200~300個の柱の跡がみつかりました。それらを整理した結果、25軒分の^竪建物跡がみつかりました。そのほとんどは南側のゆるやかな斜面にありました。大きさは2間×3間(3.6m×5.4m)がほとんどです。人が住むために使ったものが、生活に必要な道具をしまっておく物置に使ったものかは分かりません。

平安時代水田跡の調査



▲平安時代の水田跡と絵のある土器が出た場所



▲重なって出た土器



▲▲▲土器に描かれた絵



▲絵のある土器とまとめて出た土器や骨、歯

平安時代の水田跡の調査で、1108（天仁元）年、浅間山噴火の際に降り積もった火山灰にうずもれた水田跡から土器とブタの骨、ウマの歯がまとめて見つかりました。この土器の中に「鬼」や「ウマ」が墨で描かれていました。これらのものは、豊作を祈るために使われました。

柳久保遺跡群の調査を終えて



▲現地見学会の様子



▲現地見学会の様子



▲調査を終えて

1985年から始まった柳久保遺跡群（約100,000㎡）の発掘調査も1987年10月で終了しました。

発掘調査は「城南住宅団地」造成地内の台地の表面を総て取り除いて行われました。調査の結果、旧石器時代の遺物、縄文時代の土器・石器・おとし穴、古墳時代以降の集落・古墳、平安時代の水田耕作における昔の人達の祈りに関する墨画土器、さらに、律令体制をうかがい知ることのできる墨画土器等貴重な資料を得ることができました。また、現地見学会は、たくさんの人たちが訪れ盛況の内に終わりました。

32,000年を1年として見ると



12月5日22時30分43秒



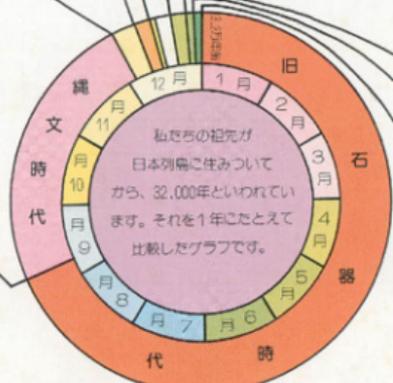
12月12日18時50分24秒



12月17日8時24分00秒



9月9日1時33分36秒



12月23日1時20分38秒



12月27日14時54分14秒



12月30日16時17分45秒

除夜の鐘

近代・現代 大みそかの
6時28分48秒に昭和が始まる。

柳久保遺跡群 前橋市教育委員会文化財保護室
前橋市上泉町 0272-31-9531
印刷 株式会社報道